



第300号

# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

## 今月号の内容

- 平成27年の新年を迎えて ..... 1
- 検査セミナー・《各部局報告》 ..... 2~3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 《賛助会員コラム》・兵庫県公衆衛生協会会長賞を受賞して・《求人情報》 ..... 6~7

## 平成27年の新年を迎えて

(公・社) 兵庫県臨床検査技師会  
会 長 中町 祐司

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに年の初めを迎えられたこととご慶賀いたします。

今年は「未年」です。「未」は、『漢書 律曆志』では、「昧曖(まいあい)」の「昧」と記され食物が茂って、果実が熟した状態「味(み)」を指すと言われます。後に、覚えやすくするために動物のヒツジが使われるようになったとされています。「未」は象形文字で木の枝葉の茂った様を表します。また未の月にあたる6月は、様々な作物が成熟する大切な季節です。これらより「未」の字には、豊作への願いがこめられているといわれています。また、羊は群れをなすことから、家族の安泰を示しつつまでも平和に暮らす事を意味しているともいわれています。

昨年は、「臨床検査のinnovation -The way of real professional-」をテーマに、日臨技近畿支部医学検査学会を開催し、これからの臨床検査がどうあるべきか考えることができました。当初の想定を超える1,700名以上の来場者があり、非常に活気にあふれた良い学会となりました。これも会員や賛助会員の方々のご協力、ご支援のお陰と大変感謝しています。

また、来年、2016年には神戸国際会議場を中心として日本臨床医学検査学会、日本臨床検査医学会とIFBLS世界臨床検査学会が同時開催されます。日本臨床医学検査学会は兵庫県臨床検査技師会が担当いたします。テーマは「Challenge -伝統の継続と未来への進化-」です。現在、多くの方にとって有益な学会となるよう準備をすすめているところです。皆様のご協力のほどよろしくお願いします。

今、医療業界は医師不足や少子高齢化による医療体制の変化からいろいろなコメディカルが業務を取り合っている状態です。臨床検査技師も患者さんのためになることは何かを考えながら新たなことにchallengeしていかなければなりません。

臨床検査においても法整備により、臨床検査技師等に関する法律の一部が改正され、平成27年4月1日から、臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取や味覚・嗅覚の検査が追加されることとなります。また、「検査説明」の研修会も昨年12月から開始されています。これらにも実際の現場で積極的に取り組みたいものです。

最後になりましたが、県をはじめ行政機関、関係団体、賛助会員の方々には旧年中、お世話になり大変感謝いたしております。本年も「臨床検査を通して県民に良質な医療を提供する」をモットーに活動いたしますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、会員の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。また、皆様が平和で実りある年になれることを祈念いたします。

## 検査セミナー (11月15日)

平成26年11月15日兵庫県私学会館に於いて、(公・社)兵庫県臨床検査技師会と兵庫県がん診療連携協議会の共催で、がん診療に従事する医療関係者を対象とした『検査セミナー』が開催されました。今年度は「“肺がん” 検査と治療 up to date」をテーマに、次の2つの講演がありました。

### 講演1 「肺がん ～病理の果たす役割とは～」

佐久間 淑子 先生 (県立がんセンター 病理診断科部長)

### 講演2 「個別化医療に向けた遺伝子染色体検査の現状と

院内化へのメリット」

郡司 昌治 先生 (名古屋第一赤十字病院 細胞診分子病理診断部)



佐久間先生



郡司先生

講演は、肺がんに関する診断や日頃の業務に則した実践的な技術など身近な内容でした。佐久間先生は病理医の立場から診断にいたる過程を基礎からわかりやすく丁寧に解説しておられました。郡司先生は実際に行っている遺伝子・染色体検査について症例を提示しながら、個別化医療に向けた院内検査導入の重要性を説明されました。当日は臨床検査技師だけでなく他の職種の方々も多数参加して大盛況のうちに閉会となりました。

今後も最新の検査と診断・治療に関するセミナーが開催される予定です。会員の皆様も、日々進歩する現代の医療を学ぶことができるこのようなセミナーに積極的に参加してみてはいかがでしょうか。

(文責：広報部)



## 各局局報告

### 組 織

### 第3回西播地区グループ研修会

(11月19日)

#### ● <講演要旨> 甲状腺疾患の診断と検査

坂井 礼 (シスメックス㈱ 西日本営業本部 免疫事業推進部)



甲状腺疾患については、症状の多様性から別の疾患と間違え、もしくは症状に気づかず発見されないなど潜在性の患者が多く存在する。実際の患者数は生活習慣病並に多い。また、甲状腺疾患は圧倒的に女性に多く、妊娠や出産は甲状腺疾患の発症、再発、増悪などを大きく左右する。そして、甲状腺疾患の多くは甲状腺における自己免疫疾患である。

日常的に頻度が高い甲状腺ホルモン高値の疾患はバセドウ病、無痛性甲状腺炎および亜急性甲状腺炎(破壊性甲状腺中毒症)である。破壊性甲状腺炎では甲状腺自体でのホルモン合成が低下しているため、バセドウ病治療に用いられている抗甲状腺剤を用いてはならない。治療方針が大きく異なるため、両者の鑑別は非常に重要である。米国甲状腺学会(ATA)の甲状腺疾患診断ガイドラインでは、甲状腺機能亢進症の正確な診断には高感度なTSH測定が求められている。

一方、甲状腺ホルモン低値を引き起こす疾患には慢性甲状腺炎(橋本病)がある。橋本病は自己免疫の異常により、リンパ球が自己の甲状腺組織を破壊して慢性炎症が生じることにより発

症する。その結果、甲状腺機能の低下が引き起こされる。免疫機能に異常があっても甲状腺ホルモンの分泌は正常であることが多く、初期には自覚症状がない。病態の進行とともにTSH上昇、FT<sub>4</sub>低下、さらにFT<sub>3</sub>低下が起こってくる。

以上のように甲状腺疾患は様々な症状を呈し、患者はその初発症状から色々な診療科を受診することがある。診断において重要なことは、まず甲状腺疾患の存在を疑うことである。甲状腺ホルモンが脂質代謝、骨代謝や各種酵素の動態などに関与するため、甲状腺ホルモンの変動は一般臨床化学検査所見からもうかがい知ることができる。それに加えて問診、視診、触診、臨床所見等から甲状腺疾患の可能性を考え、必要に応じて甲状腺に関連する検査を実施することで、甲状腺疾患の発見につなげることが重要となる。



## ● 研修会に参加して

陰山 友希 (姫路市医師会)

太子町あすかホールにて第3回西播地区グループ研修会が開催されました。「甲状腺疾患の診断と検査」についての講演があり、検査項目や疾患、治療、また検査データの見かたや測定のポイント等についてひとつひとつわかりやすくお話を聞かせていただきました。私は免疫検査に携わるようになってから日が浅いので基礎的なところから教えていただくことができ、たいへん有意義な時間を過ごせました。今回の講演で得た知識を日々の検査業務に生かしたいと思います。



## 第2回東播地区ナイトセミナー (11月21日)

小川 由貴 (甲南加古川病院)

県立加古川医療センターに於いて第2回東播地区ナイトセミナーが開催されました。

「肝炎の気になる話題」まずはB型肝炎の現状について話していただきました。特に印象に残ったのは、日本国内のHBV遺伝子型(ジェノタイプ)の割合はC型が8割を超えておりその他の殆どがB型で、ここ数年でジェノタイプA型が増加しているそうです。

A型は約10~20%肝炎が慢性化するので注意が必要と感じました。近年話題のNAFLD<sup>※1</sup>には、単純性脂肪肝と肝硬変や肝臓へ進行する可能性のあるNASHがあり、国内推定患者が1000万人と言われ、B型(150万人)・C型(200万人)より多いと知って改めて数字で実感しました。最後にM2BPGi<sup>※2</sup>について話していただきましたが、この言葉を聞いたことが無く、一体何だろう？と思っていたのですが、肝臓の線維化マーカーであり、線維化の進展を把握することで、発癌リスク評価やNASHの診断などに役立つことがわかりました。肝炎についての様々な話が理解でき、参加して良かったと思いました。

有意義な研修会を開催していただき有り難うございました。



(編集部 注)

※1 NAFLD: nonalcoholic fatty liver disease、非アルコール性脂肪肝疾患

※2 M2BPGi: Mac-2 binding protein糖鎖修飾異性体

タンパク質部分が同じであっても、細胞状態の変化に伴って、タンパク質上の糖鎖構造が異なるものを糖鎖修飾異性体という。肝線維化の進行度によってMac-2 binding protein (M2BP) 上の糖鎖構造が変化するため、タンパク質部分と糖鎖構造の両方を検出することで、診断マーカーとして利用できる。



## 賛助会員

## BML [33]

## 株式会社ビー・エム・エル

## 臨床検査を通じて地域医療の発展に貢献します

近畿第一支社長 成藤 達郎

明けましておめでとうございます。貴会ならびに会員の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびは弊社の紹介をさせていただく機会をいただきありがとうございます。まずは当社の沿革をご紹介させていただきます。当社は、皆様もご存知のとおり臨床検査の受託をメインとして行っている会社です。貴会の創立から遅れること4年、昭和30年7月に創業をし、本年7月に満60年を迎えます。創業当初は、今の臨床検査業ではなく、保存血液の製造・販売（いわゆる血液銀行）を生業としておりました。（当時の社名：株相互ブラッド・バンク）。その後、ライシャワー事件を契機とした輸血用血液の売血廃止に伴い当社も血液銀行業務から撤退し、昭和42年に臨床検査事業を開始しました。開始直後こそ検査は用で行っていましたが、数量の増加に伴い、品質の確保と作業環境の改善のための効率化をめざして、同42年に米国テクニコン社や日立の自動分析機を導入し、その後も積極的に機械化を推進してまいりました。また、今では当たり前となった医療機関への検体の集荷やコンピューターシステムの導入を業界でもいち早く着手し、現在の臨床検査受託体制の礎をこの時期に構築しました。

現在では、当社が受託する検査項目は4000項目を超え、1日に検査を実施している患者さんの数は20万人超となっております。全国に張り巡らせた営業・集配ネットワークと、主要検査所である「BML 総合検査所」（埼玉県川越市）を中心とした検査所のネットワークで、医療機関のさまざまな検査ニーズにお応えしています。

臨床検査の医療における位置付けは、遺伝子検査分野での新技術の開発などに見られるように、従来以上に重要性を増しております。当社も民間検査センターの一員として臨床検査の技術開発にチャレンジし続けるとともに、検査品質の向上に努めてまいりたいと考えております。また、兵庫県においても、貴会に所属する賛助会員として兵庫県の臨床検査技師の地位の向上と、地域医療の発展に貢献してまいりたいと存じます。

最後に、当社の検査項目検索アプリ「B-Book」（無料）をご紹介します。

B-Bookは、「知りたい検査項目情報をサクサク検索」をコンセプトに提供しているスマートデバイス用のアプリです。検査項目毎の解説（コンペンジウム）を搭載しており、当社のお取引先医療機関はもとより、そのほかの医療従事者や臨床検査技師を目指す学生さんにも好評をいただいています。是非、この機会にご利用いただければ幸いです。

今後の貴会ならびに会員の皆様のご発展をお祈り申し上げます。

## &lt;「B-Book」ダウンロード方法&gt;

【ダウンロード方法】[bml]もしくは[bml bbook]で検索してインストール

【対応機種】iPad（2以降） iPhone（4S以降） Android 端末（2.2以降）

知りたい検査項目情報を  
サクサク検索

B-Book 検査項目検索アプリ B-Book

株式会社ビー・エム・エル <http://www.bml.co.jp/>  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3 TEL.03-3350-0111(代表)

# 兵庫県公衆衛生協会長賞を受賞して



丸岡 康子 (西宮市医師会診療所)

この度は、本賞受賞にあたり(公・社)兵庫県臨床検査技師会様よりご推薦頂き有難うございました。

先日、表彰式及び講演会に参加し、これまでの技師の立場が大きく変わったことを新ためて感じました。

今回、感染症の講演は、動物からの感染について・・・(余談ですが、兵庫県はアライグマが非常に多いそうです)。そして、最近のデング熱やエボラ出血熱のお話がありました。以前は、海外での感染は“対岸の火事”のような感じでしたが、海外からの観光者の増加等もあり身近な感染症となってきています。こういった感染症の現場でも技師の存在は大きくなってきているようです。

また、以前は病気になってから検査を行うのが主流でしたが、特定健診やがん検診等、検査値をみて生活習慣等の改善を試みるといった“予防医学”の分野も大きく変わろうとしています。

臨床の間では、エビデンスに基づいた治療や診断。まさに、検査はなくてはならない存在となっております。改めて日進月歩の医療に携わっている者として、日々精進しなければと感じております。

最後に、日々、いろいろな立場でご活躍されている技師の皆様のこれからの活躍、ご発展を心からお祈り申し上げ感謝の言葉とさせていただきます。



めらんじゅーるな空間 [8] は紙面の都合上、次月号に掲載させていただきます。お楽しみに。

## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●(医・社)せいゆう会 神明病院

交 通：JR大久保駅下車 バス5分  
採用条件：正社員  
業務内容：外来・病棟における検査業務  
連 絡 先：078-935-9000 (総務課 田中・林)

### ●(医・社)清和会 笹生病院

交 通：阪神香櫨園駅下車 徒歩6分  
採用条件：正社員  
業務内容：一般・生化学・血液・血清・生理検査  
連 絡 先：0798-22-3535 (人事採用課 清原)

### ●宝塚市立病院

交 通：阪急逆瀬川駅下車 バス10分  
採用条件：臨時職員(週4日：4時間勤務)  
業務内容：一般検査  
連 絡 先：0797-87-1161 内線4530 (小松)

### ●(医・社)英明会 大西脳神経外科病院

交 通：JR大久保駅下車 徒歩15分  
採用条件：正社員  
業務内容：生理検査・検体検査・術中モニター  
連 絡 先：078-938-0867 (事務部長 藤井)

### ●神甲会 隈病院

交 通：阪急花隈駅下車 徒歩3分  
採用条件：正社員  
業務内容：主に生化学検査  
連 絡 先：078-371-3721 内線9306  
(臨床検査科科长 山尾)

### ●聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院

交 通：JR仁豊野駅下車 徒歩10分  
採用条件：正社員  
業務内容：検査全般(当直あり)  
連 絡 先：079-265-5111 (総務課 人事担当)